

学校訪問シリーズ 9

# 津久見市立津久見小学校から学ぶ

学校の教育目標「他を思いやり 学ぶ楽しさをもって挑戦する『つくみっ子』の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「言語能力～考えを形成し深める力～」と定め、研修部、体育部、生活指導部を中心に組織的に取り組んでいます。

また、教務主任が全体を統括し、それぞれの取組の進捗や依頼について「たちばな通信」として発信し、職員だけでなく保護者にも周知しています。

## 学校経営から学ぶ

4年目になる教科担任制の取組が学力向上だけでなく、運動会の練習などにも表れています。先生方は多くの学級に授業に行くため、子ども達の練習の様子を多面的にみることで、個々の成長を発見しやすいですね。また、練習後は（担任ではない）次時の授業があるので、教職員も子ども達も素早く行動し、切り替えもはやいようです。

また、教科担任制を効果的に行うためには教材研究の時間も確保する必要があるため、放課後の会議の資料は事前に配布し内容も精選しているようです。

## 授業から学ぶ

運動会の全校練習後であっても、どの教室もとても集中して参加していました。それは、日常の指導に加え、タブレットを活用したり、グループで学び合う場を設けたり、先生方の工夫を感じました。

また、指導案においては、本時のねらいと評価規準の整合性があり、「振り返り」も目指す子どもの姿で表していたので、ゴールイメージがわかりやすいですね。

今後は指名の仕方を、挙手→指名だけでなく、短時間の学び合い→列指名等を取り入れることで、多くの子ども達に発言の機会を与えられると思いました。



NO.132 2022年9月 津久見市立津久見小学校

## 他を思いやる

困っている友達に気がつくと、周りの人に気がつかないようにそっと教えてあげる優しさ。



NO.134 2022年9月 津久見市立津久見小学校

## 学ぶ楽しさ

友達と学び合うことで、自分の考えに自信が持てる。そして、他のやり方も学べる。もっと良い方法もみつける。



NO.137 2022年9月 津久見市立津久見小学校

## 調整力

整えるために、自分のやるべきことを考える。  
調えるために、相手の気持ちを考える。  
だから、全体の形も心もそろってくる。



NO.136 2022年9月 津久見市立津久見小学校

## 表現力

最後まで静かに聴いてくれる。  
うなずいてくれる。共感してくれる。  
そんな学級だから発表できる。



NO.135 2022年9月 津久見市立津久見小学校

## 体で覚える

学んだことを、体を使い繰り返し行うことで、自分の知識となっていく。